

令和5年度(2023年度)高校講座実施報告
(7月分)

令和5年8月31日

●新潟県 県立津南中等教育学校(令和5年7月20日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 経済局 経済協力開発機構室 穴澤葉子 課長補佐

開催形式: 対面



●新潟県 県立新潟南高等学校(令和5年7月19日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 経済局 経済協力開発機構室 穴澤葉子 課長補佐

開催形式: 対面



●埼玉県 私立浦和実業学園高等学校(令和5年7月18日)

講師: 経済局 サービス貿易室 原田貴 室長

開催形式: 対面



●熊本県 県立東稜高等学校(令和5年7月14日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 広報文化外交戦略課 作増彩 首席事務官

開催形式: 対面



- 京都府 府立東舞鶴高等学校(令和5年7月14日)
講演テーマ: 外交という仕事
講師: 大臣官房 国内広報室 石原文嗣 主査
開催形式: 対面



- 熊本県 私立熊本中央高等学校(令和5年7月13日)
講演テーマ: 外交という仕事
講師: 広報文化外交戦略課 作増彩 首席事務官
開催形式: 対面



●大阪府 国立大阪教育大学附属高等学校池田校舎(令和5年7月13日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 大臣官房 国内広報室 石原文嗣 主査

開催形式: 対面



●兵庫県 県立伊丹高等学校(令和5年7月13日)

講演テーマ: 外務省の仕事、国際協力のキャリア

講師: 総合外交政策局 女性参画推進室 古本建彦 室長

開催形式: 対面



●兵庫県 私立滝川高等学校(令和5年7月12日)

講演テーマ: 外務省の仕事、国際協力のキャリア

講師: 総合外交政策局 女性参画推進室 古本建彦 室長

開催形式: 対面



●福井県 県立金津高等学校(令和5年7月11日)

講演テーマ: 世界から見た日本

講師: 北米局 北米第一課 篠原史仁 主査

開催形式: 対面



●岩手県 県立花巻南高等学校(令和5年7月11日)

講演テーマ: 外交と宇宙

講師: 総合外交政策局 宇宙・海洋安全保障政策室 岡崎淳 主査

開催形式: 対面



●福井県 県立敦賀高等学校(令和5年7月10日)

講演テーマ: 世界から見た日本

講師: 北米局 北米第一課 篠原史仁 主査

開催形式: 対面



●岩手県 県立花巻北高等学校(令和5年7月10日)

講演テーマ: 外交と宇宙

講師: 総合外交政策局 宇宙・海洋安全保障政策室 岡崎淳 主査

開催形式: 対面



●鹿児島県 私立ラ・サール高等学校(令和5年7月6日)

講演テーマ: 好きなことをしよう/世界を舞台に

講師: 領事局 政策課 竹鼻千尋 首席事務官

開催形式: 対面



●福島県 県立原町高等学校(令和5年7月6日)

講演テーマ: 外交官の仕事

講師: 山田和花奈 副大臣秘書官

開催形式: 対面



●鹿児島県 私立鹿児島修学館高等学校(令和5年7月5日)

講演テーマ: 好きなことをしよう/世界を舞台に

講師: 領事局 政策課 竹鼻千尋 首席事務官

開催形式: 対面



●福島県 県立安積黎明高等学校(令和5年7月5日)

講演テーマ: 外交官の仕事

講師: 山田和花奈 副大臣秘書官

開催形式: 対面



●群馬県 太田市立太田高等学校(令和5年7月4日)

講演テーマ: 外交という仕事

講師: 大臣官房 国内広報室 古屋智将 課長補佐

開催形式: 対面



●千葉県 県立柏南高等学校(令和5年7月3日)

講演テーマ: 外務省について(自分の経験を踏まえて)

講師: 大臣官房 国内広報室 小林まどか 事務官

開催形式: オンライン



参加者からの感想(抜粋)

- 今までは「外交官」と聞くとサミットのような「外交の表舞台」の部分しか想像ができなかったが、そこに及ぶまでの準備作業などを知ることが出来て本当に良かった。
- 外交官という職業は知っているものの仕事内容についての詳細はあまり知らなかった。講演を聞いて外交官の仕事内容だけでなく、世界における日本の立ち位置や、その問題点なども学ぶことができ、とても有意義な時間を過ごすことができた。
- 相手の国のことを学ぶために、その国の文化や歴史をよく理解することが大切だと思った。また、自分の興味のあることを探求することで色々な可能性が広がっていくことも学んだ。
- 外国とのやり取りや繋がりは大切であり、自分の交流の幅を広げるために英語はできた方が良かったと思った。将来、困っている世界の人々を助けられることができれば良いと思った。
- 経済面や産業面だけでなく、衣食住など外国との繋がりがなしでは私たちが送っている「普通の日常生活」は得られないのだと思った。

- 外交という、語学であったり経済であったりと、とても難しいイメージを持っていたが、人とのコミュニケーションが最も重要なことであるとわかり、外交という仕事に対するイメージが変わった。
- 日本が抱えている問題だけでなく、外国での問題についても講演で取り上げられていたため、更に視野が広がった。今まで興味のなかった「国際関係」にも興味を持つことができ、将来の選択の幅が広がった。
- 外国から見た日本については、国によってイメージが違っているとわかり、自分目線だけでなく相手目線で物事を見ることの大切さに気が付いた。
- 英語を話すことができると自分の交流の幅や将来の可能性を広げることができると思いき、今後より一層、英語の勉強に力を入れていこうと思った。